



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1103 2017 年 12 月 18 日

ARIBからのお知らせ

第 29 回電波功績賞候補者の推薦依頼について

当会は、通信・放送分野における電波利用に関する調査研究、研究開発、標準規格策定、普及啓発等の事業、電波を有効に利用するための照会相談業務等のコンサルティング、関連外国機関との調整・協力等の事業を実施しております。電波の有効利用の普及を推進するため、電波の有効利用に関して特別の功績を上げた個人又は団体に毎年「電波功績賞」を授与しています。

第29回電波功績賞候補者の推薦について、本年12月15日（金）、会員各位あて電子メールにてご案内いたしました。また、[ARIBホームページの「お知らせ」](#)にも掲載しています。

会員各位の多数のご推薦をお願いいたします。

第 157 回電波利用懇話会開催のお知らせ（ARIB、NICT 共催） 「テラヘルツ帯（300GHz 帯）を用いた 100Gbit/s 級 無線通信技術の研究開発動向」

今回の電波利用懇話会は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）との共催により開催いたします。

昨今のモバイル環境におけるデータ通信トラフィックの伸びには著しいものがあります。スマートフォンには4Kディスプレイやカメラが搭載されるようになってきました。公共交通機関の車内におけるスマートフォンでの動画視聴も見慣れた風景となりつつあります。モバイルユーザーによる動画データ生成とクラウドへのアップロード、さらには短時間動画のやり取りがソーシャルネットワークサービス（SNS）におけるコミュニケーション手段の中核となりつつあるなど、トラフィック中では動画のデータが大部分を占める状況であり、このような大きなモバイルトラフィックの伸びをどのようにして収容するかが大きな問題となっております。

そのような中でテラヘルツ帯（0.1～10THz）の電磁波を用いた各種応用の研究開発が活発になって来ています。中でも無線通信の分野においては、これまでにない広いバンド幅を確保し、100Gbit/sという光ファイバー通信並みの伝送速度を目指した研究開発が日本や欧州において活発化しています。100Gbit/sという速度があると、DVDデータ（4.7GB）を0.5秒以内で伝送できるなど、高速で電力消費の少ない無線通信手段として、テラヘルツ帯、特に300GHz帯を用いた無線通信技術に注目が集まっています。また、電波産業会ではテラヘルツ（主

に250GHz～1THz)の幅広い利用・応用分野が期待されるアプリケーション、システムを明らかにするとともに、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査検討し、産業界におけるテラヘルツの研究開発と実用化を促進することを目的として、新たな調査研究会の立ち上げを計画中です。

今回の電波利用懇話会では、テラヘルツ技術の研究開発や標準化で活動しておられる国立研究開発法人情報通信研究機構の未来ICT研究所 所長でありテラヘルツ研究センターのセンター長も務めておられます寶迫 巖様をお迎えして、300GHz帯を用いた100Gbit級無線通信技術ポテンシャル、国際動向についてご説明いただくとともに、総務省の電波資源拡大のための研究開発「テラヘルツ波デバイス基盤技術の研究開発」において取り組まれている成果についてご紹介いただきます。

ご関心をお持ちの多くの皆様にご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成 30 年 1 月 19 日 (金) 14 時から 15 時 30 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号 日土地ビル 11 階
- 3 主 催 : 一般社団法人電波産業会 (ARIB)
- 4 共 催 : 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)
- 5 題 名 : 「テラヘルツ帯 (300GHz 帯) を用いた 100Gbit/s 級無線通信技術の研究開発動向」
- 6 講 師 : 国立研究開発法人情報通信研究機構 テラヘルツ研究センター
センター長 寶迫 巖 様
- 7 参 加 者 : 70 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 8 申 込 先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 9 参 加 費 : 無料
- 10 問 合 せ 先 : 一般社団法人電波産業会 企画国際部 電波利用懇話会事務局 小田島まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2017@arib.or.jp

ARIBの動き

**総務省/電波環境協議会主催 電波環境協議会シンポジウム
～医療機関における安心・安全な電波利活用促進シンポジウム～
を開催**

平成 29 年 12 月 7 日 (木)、電波産業会が事務局を務める 電波環境協議会 (略称: EMCC) 及び総務省の主催するシンポジウム「医療機関における安心・安全な電波利活用促進シンポジウム」を大手町サンケイプラザ ホールにおいて開催しました。なお、このシンポジウムには、

電波産業会の他、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人 日本医師会、四病院団体協議会、公益社団法人 全国自治体病院協議会、一般社団法人 電子情報技術産業協会からのご後援をいただいています。

このシンポジウムは、平成 27 年 9 月に EMCC に設置された「医療機関における電波利用推進部会」（座長：滋慶医療科学大学院大学教授）での検討結果をとりまとめ、平成 28 年 4 月 4 日、EMCC が策定・公表した「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」の普及のために開催されたものです。

シンポジウムでは、平成 28 年の手引き発表以降に作成した医療機関における「電波の安全利用規程（例）」やリーフレット、今年作成中の人材育成用の動画を紹介し、352 名の方々にご参加いただき、熱心な意見交換がなされました。



シンポジウムの様子

シンポジウムでは、総務省 総合通信基盤局長 渡辺 克也様より、開会のご挨拶をいただきました。その後、EMCC 会長 福地 一様より、EMCC の紹介がありました。講演としては、秋田大学 理事・副学長 近藤 克幸様から「病院における電波の利活用事例」を、ハートライフ病院 医療技術部臨床工学科 主任 仲松 晋也様から「指針を基にした病院内における携帯電話使用規則の見直し」と題したご講演をいただきました。更に、パネル・ディスカッションでは、「安心・安全な電波管理に向けた具体的アプローチ」と題し、滋慶医療科学大学院大学 教授 加納 隆様にコーディネータを務めていただき、手引き作成に関われた（公社）日本医師会 常任理事 石川 広己様、大成建設(株) 課長 遠藤 哲夫様、（一社）日本病院会 副会長 大道 道大様、フクダ電子(株) テクニカルフェロー 村木 能也様に加え、当日講演いただいた近藤様、仲松様にパネリストとして参加いただきました。



総務省 総合通信基盤局
渡辺 克也 様



EMCC 会長
福地 一 様



秋田大学 理事・副学長
近藤 克幸 様



ハートライフ病院 医療技術部 臨床工学科 主任
仲松 晋也 様



パネルディスカッションの様子 (左)



パネルディスカッションの様子 (右)

2017 年度 VSC セミナーを開催

ITS 情報通信システム推進会議は、国際対応専門委員会の主催による「2017 年度 Vehicle Safety Communications (VSC) セミナー」～VSC 関連国際会議結果と推進会議活動報告～を 12 月 14 日 (木)、明治記念館 (港区元赤坂) において開催しました。

本報告会では、ご来賓に総務省 総合通信基盤局 移動通信課 杉野 勲 課長をお迎えし、約 150 名の方々に参加いただきました。プログラムは、以下のとおりです。

【来賓挨拶】 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課課長 杉野 勲 様

【開会挨拶】 国際対応専門委員会 専門委員長 山本 武志 様

【報告 1】 ITS 無線システムの国際標準化動向

(1)ITS 世界会議モントリオール 2017 より

「コネクテッドカー・協調型 ITS・自動運転向け無線システムに対する総務省の取り組み」

①ES11 : Communication Options for Connected, Cooperative and Automated Transport

総務省 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長 中里 学 様

②SIS87 : Radiocommunication Technologies for Cooperative ITS and Automated Driving

総務省 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 係長 和田 憲拓 様

(2)WRC-19 議題 1.12 「ITS アプリケーション」、

議題 1.16 「5GHz 帯における無線 LAN」関連動向

(ITU-R WP 5A/APG-19/AWG)

国際対応専門委員会 VSC-TG 主査 (WP5A SWG-ITS 議長) 小山 敏 様

(3)V2X 利用運転支援システムの標準化における国際動向

国際対応専門委員会 VSC-TG 三角 正法 様

【報告 1 に関する Q&A】

【報告 2】 高度運転支援システムと自動運転システムの国際動向

(1)米国自動運転シンポジウム、ITS 欧州総会、ITS 世界会議モントリオール、
SIP-adus Workshop より「自動運転を中心とした世界動向」

ITS Japan 常務理事 (SIP 自動走行システム・国際連携 WG 副主査) 内村 孝彦 様

(2)700MHz 帯 ITS 無線(ITS Connect)の最新動向

700MHz 帯 ITS 実用化専門委員会 専門委員長

末木 隆 様

(3)ITS V2X on 2-Wheelers Safe Mobility

Institute for Information Industry Vice President

Dr. Ming-Whei Feng

【報告 3】 次世代無線通信方式の検討状況

(1)DSRC プラットフォームを拡張する ITS アプリケーションサブレイヤの検討状況

DSRC プラットフォーム WG 主査

津田 喜秋 様

(2)自動運転システム向け無線通信方式について

①自動運転向け無線通信の検討状況

高度化専門委員会 無線方式検討 TG 主査

浜口 雅春 様

②LTE V2X/5G の標準化状況

高度化専門委員会 セルラー応用 TG 主査

中村 武宏 様

【報告 2,3 に関する Q&A】

【閉会挨拶】

高度化専門委員会 専門委員長

小花 貞夫 様

日中韓情報通信標準化会議 第 51 回 IMT WG 会合の概要

日中韓情報通信標準化会議 (CJK) 第 51 回 IMT WG 会合が開催されました。

- 1 日 程： 2017 年 12 月 12 日 (火) ～13 日 (水)
- 2 場 所： 沖縄県市町村自治会館 (沖縄県・那覇市)
- 3 出席者：

各標準化機関のメンバーとして、ARIB から 9 名、CCSA (中国) から 8 名、TTA (韓国) から 7 名が参加しました。

- 4 会合の目的：

CJK IMT WG 会合は、日中韓 3 ケ国の標準化機関 (SDO: Standards Development Organization) の ITU-R、APT 及び 3GPPs 等における IMT の国際標準化に対する取り組み等に関する情報・意見交換を行うことを目的としています。



5 主要結果：

- ・ 9 月に開催された第 3 回 ITU-R SG5 Task Group 5/1 (TG 5/1) 会合、第 22 回 ASIA-PACIFIC TELECOMMUNITY Wireless Group (AWG-22) 会合、および第 28 回 ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合の結果に加え、各 SDO の活動報告、3GPP の議論状況報告に関して確認を行いました。
- ・ 各国の ITU-R への IMT-2020 技術提案予定、外部評価グループの活動状況に関して情報共有を行いました。
- ・ 1 月 17 日から開催予定の第 4 回 TG 5/1 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行いました。
- ・ 1 月 31 日から開催予定の第 29 回 WP 5D 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行うとともに、2 つの Special Interest Group (SIG-Spectrum, SIG-Evaluation) の活動状況を踏まえ、各 SDO の提案内容の共通部分を基に共同寄与文書化について検討を行い、2 件の寄与文書について共同寄与文書化の検討を進めることになりました。

6 次回会合のスケジュール：

次回は、2018 年 5 月 16 日～17 日に中国（杭州）で開催される予定です。

第 245 回業務委員会を開催

第 245 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時：平成 29 年 12 月 13 日（水）午後 4 時から午後 5 時 20 分まで

2 場所：当会第 1 会議室

3 議事概要：

- (1) 第 4 回 Global 5G Event の概要について
- (2) 電波産業年鑑 2017 の発行について
- (3) 第 29 回電波功績賞候補者の推薦依頼について
- (4) 第 24 回 ITS 世界会議モントリオール 2017 の概要について
- (5) 各社からのトピックス
- (6) その他

今週の ARIB 内会合（12 月 18 日～12 月 22 日）

- 12 月 18 日（月） 電波環境協議会（EMCC）医用テレメータ作業班（第 3 回）
- 12 月 19 日（火） 自営無線通信調査研究会（第 11 回）
- 12 月 19 日（火） スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班
- 12 月 20 日（水） 第 259 回 技術委員会（通信・放送分野合同）
- 12 月 20 日（水） 無線 LAN システム開発部会（第 35 回）
- 12 月 21 日（木） 防災行政無線システム作業班（第 22 回）
- 12 月 21 日（木） スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班

今週の国際会合（12 月 18 日～12 月 22 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電気通信事業法施行規則及び電気通信事業報告規則の 一部を改正する省令案に関する意見募集

【平成 29 年 12 月 14 日発表】

総務省は、電気通信事業法施行規則及び電気通信事業報告規則の一部を改正する省令案について、平成 29 年 12 月 15 日（金）から平成 30 年 1 月 18 日（木）までの間、意見募集を行っています。

【経緯】

近年の市場環境の変化に対応し、適切な行政運営の確保を通じた ICT 基盤政策を推進するとともに、電気通信事業分野の動向の適切な分析・検証に必要な情報を把握するため、電気通信事業法施行規則及び電気通信事業報告規則について改正を行い、所要の規定の整備を行うものです。

詳細については [【平成 29 年 12 月 14 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp